

令和6年度 徳島大学大学院 創成科学研究科博士前期課程

地域創成専攻 I 期

入学試験問題

受験科目名：地域社会論

【注意事項】

- 1 係員の指示があるまで問題冊子を開いてはならない。
- 2 試験問題は、表紙（この紙）1枚、問題・解答用紙4枚の、合計5枚である。
- 3 解答開始後、各問題・解答用紙の「受験番号」欄に受験番号をはっきりと記入すること。
- 4 問題は合計2問である。
- 5 解答は指定された解答欄に記入すること。
- 6 配布した用紙はすべて回収する。

受験番号	
------	--

徳島大学大学院創成科学研究科博士前期課程地域創成専攻

地域社会論 その1

問1 コロナ禍で中止されていた祭礼が、最近では再開されるようになってきました。ただし、毎年行われていた祭礼に休止期間が生じたことにより、様々な問題も生じています。あなたが知っている祭礼（祭礼名、開催地を示す）を取り上げ、初めに、取り上げた祭礼が地縁をもとにした伝統的祭礼であるのか、阿波踊りのような合衆型の祭礼であるのかを示しなさい。そのうえで、その祭礼の組織・運営構造を説明し、コロナ禍前と比較してどのような変化や問題点（よい点も含む）が生じているか具体的に論じなさい。

【解答欄】

祭礼の名称:

開催地:

祭礼のタイプ: 伝統的祭礼 合衆型祭礼 (どちらかに○)

祭礼の組織・運営構造の説明とコロナ禍後の再開における変化と問題点(良い点も含む)

(次ページも使って論じなさい)

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is no handwriting or other markings on the paper.

小計
